

「貿易実務科」 開講動機と目標

株式会社言語サービス
LSスクール 白楽教室

代表取締役 史莉(シリィ)

求職者支援訓練「貿易実務科」コース開講の動機

(1) 弊社の人材サービスと連携したい。

求職者支援訓練により、長期的に会社に在籍できる人材を育成し、求職者個人の希望、経験、能力を把握する一方、企業様のニーズをリサーチし、適材適所の原則で、安定的な就職の支援していきたく思います。

訓練のために訓練するのではなく、企業様に人材を提案できるために開講します。そのため、会社の事業内容に合せたコース内容を盛り込んでおります。

※経緯: 昨年11月にIT技術者の派遣を中心に人材サービスをスタートしました。毎日企業様から多数の案件をいただきました一方、案件に合う人材が不足し、マッチングをするのはなかなか難しいことが分かりました。ただ人材を登録して、マッチングするだけでなく、長期的に会社に在籍できる人材を確保しなければならないと思いました。

(2) 「国際ビジネスの架け橋」という会社事業の方向を強調したい

ひとつの専門知識で一生食べていく人がいる一方、いろいろな経験を積み、人と関わり、国際的な雰囲気好きな人もいます。どのようなお仕事をしても、すぐ適応できる人材は競争の激しい時代に取り残されることはありません。そのような人材を会社に集めていきたくと考えております。

(3) 日中ビジネスコンサルティング事業展開による、弊社の強みである「日中関係企業のネットワーク」を活かしたい。

※弊社は中国の現地法人を通して、中国現地の日系企業、日中合弁企業、日本企業と取引のある中国企業のネットワーク、中国の中央及び地方行政部門とのパイプを有しており、中国関連企業で活躍したい人材に就職活動をサポートすることが可能です。

(4) 教育の質を最重視し、良い教育、良い人材をもって、社会に貢献できる会社になりたい。

最低の機材とパート講師で対応し、同時に多数のコースを開講し、最高の利益を出そうとする教育機関ではなく、良い機材と正社員講師で対応し、『教育の質』と『就職』という最終目的を強調した教育機関にしたいと思います。そのため、教室は新築の建物を使用し、内装、カリキュラムの作成、教室レイアウト、教育に熱意を持っている専任の事務員など、すべての面において、『質』を最優先にしております。

LSスクールの教育・職業訓練事業の方針と目標

- (1) 大学・専門学校に負けない講座内容
- (2) 事務室・事務員の常駐
- (3) 正社員講師による熱意ある指導と就職支援(やる気にさせることができる講師)
- (4) 訓練内容と就職実績とノンクレームで勝つ
- (5) 事業の目的は就職支援
- (6) 「受講者の口コミが受講者を呼ぶ」学校を創ります

【追伸】

当社は「中国世界経済技術促進会」に加盟しており、中国現地だけではなく、アメリカ、オーストラリア、カナダ、インド、インドネシア、マレーシアなどの国との提携もあり、将来海外で活躍したい人材のサポートをいたします。